

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	基準を満たす指導訓練室等のスペースを確保し安全面に配慮した環境整備を行っている。活動内容に応じた空間調整を継続する。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	配置基準を遵守し役割分担を明確にしている。急な欠席時にも支援の質が低下しない体制整備を継続する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0	現在の事業所設備について段差や動性に配慮し安全に利用できる環境整備を行っている。今後も利用児童の特性に応じて必要な環境調整を行う。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	業務改善に当たっては会議や日々の情報共有を通じて職員が意見を出し合い計画実行評価改善の各段階に参加できる体制を整えている。今後も職員全体での参画意識を高めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者向け評価表を活用しアンケート調査を実施しているいただいた意見や要望を職員間で共有し必要に応じて業務改善に反映している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	自己評価の結果について会報やホームページ等を通じて公表し保護者や地域に対して事業運営の透明性を確保している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	0	第三者による外部評価の機会を設け評価結果を職員間で共有し必要な改善策を検討の上業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	職員の資質向上を目的として内部研修および外部研修への参加機会を確保し学んだ内容を事業所内で共有している。
適切 な ま ち	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	アセスメントを適切に実施し子供および保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後とデイサービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	子どもの適応行動や発達状態を把握するため標準化されたアセスメントツールを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	活動プログラムは職員間で協議し子どもの状況を踏まえてチームで立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	活動内容が固定化しないよう子供の興味関心や発達段階に応じて内容を見直し柔軟に工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	平日休日長期休暇の特性に応じて活動内容や課題を設定し子どもの状況に合わせたシーンをを行っている。

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画に基づいた支援を実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	支援開始前に職員間で打ち合わせを行ないその日の支援内容や役割分担を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	支援終了後に職員間で振り返りを行ない気づきや課題を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	日々の支援記録を適切に作成し支援内容の検証および改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	定期的にモニタリングを実施し放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0	ガイドラインの基本活動を踏まえ複数の視点を組み合わせた支援を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	サービス担当者会議には当該時道の状況を把握している職員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	学校と年間計画や連絡体制等について情報共有を行ない送迎時やトラブル発生時の連絡体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	0	0	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は主治医や関係医療機関と連絡体制を整え必要な情報共有を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	就学前機関や児童発達支援事業所等と情報共有を行ない相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0	他事業所へ移行する際には支援内容や経過等の情報共有を適切に行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	発達支援センター等の専門機関と連携し必要に応じて助言や研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	地域行事や交流活動を通じて障害のない子供と関わる機会を設けている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0	地域自立支援協議会等へ積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	日頃から保護者と情報共有を行ない子どもの状況や課題について共通理解を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	保護者の対応力向上を目的として助言や支援を行っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	運営規程や支援内容を利用者負担等について丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	保護者からの相談に適切に応じ必要な助言やシーンを行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	保護者会等の機会を設け保護者同士の連携を支援している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情対応体制を整備し苦情があった場合は敏速かつ丁寧に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	定期的にグループ通信等を発行し活動内容や連絡事項を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	個人情報の取り扱いについて充分配慮し適切に管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	障がい特性に配慮し意思疎通や情報伝達の方法を工夫している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	0	地域住民とのかかわりを大切に開かれた事業運営を心掛けている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	各種マニュアルを策定し職員及び保護者へ周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	非常災害に備え定期的に避難訓練等を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	虐待防止のための研修機会を確保し適切な対応を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	身体拘束が必要となる場合は組織的に判断し事前に充分説明の上計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	食物アレルギーについては医師の指示書に基づき対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	ヒヤリハット事例を記録し事業所内で共有して再発防止に努めている。	